

細川景正文庫の寄贈について

松平進

細川景正氏の収集された板本六八点が、夫人細川タヨ氏より
 本学に寄贈されました。深い感謝をもってここに報告いたしま
 す。内容は、近松・海音などの浄瑠璃正本三〇点、浄瑠璃評判
 記七点、唄本一五点、他に外題年鑑や三味線関係、双六関係な
 どでいずれも貴重なものです。

細川氏は明治一九年東京銀座の生れ。本名芳之助。賀茂たけののち
 景正を名のる。慶応幼稚園より普通部に進んだが、病弱のため
 学業を断念、父より継承の細川活版所・細川銀芳園などを経営。
 写真・旅行を好む。のち浄瑠璃研究に没頭、浄瑠璃本の収集を
 なす。著作も多い。昭和三九年没。

文庫は、整理終了後、本学図書館貴重書室に収められる予定
 です。主要なものを左に紹介しておきます。

曾根崎心中	六行本	近松序文付	一冊
世継曾我	天和三年	加賀椽正本	一冊
十六夜物語	天和三年	加賀椽正本	一冊
傾城二河白道	宇治薩摩正本		一冊
三世相	貞享三年	近松作	一冊
加増曾我	近松作		一冊
大経師昔曆	近松作		一冊
日本傾城始	海音作		一冊
宮古路花筏			一冊
浪花其末葉	延享四年序		一冊
三十六声麴の塵	享保十八年		五冊
双六独稽古	文化八序		二冊